



台湾巡業中に陳水扁總統(右)を表敬訪問し握手する横綱朝青龍 = 18日、台北の總統府(共同)

「相撲は日本文化を象徴」・朝青龍ら台湾陳總統を訪問

【台北 18日共同】戦後初となる台湾巡業中の日本相撲協会の北の湖理事長(元横綱北の湖)、横綱朝青龍、大関陣らが18日、台北市内にある總統府を表敬訪問した。

陳水扁總統から「相撲は日本の国技。悠久な歴史だけでなく、武士道の精神が如実に表れる日本文化の最もいい部分を象徴している」と言葉を掛けられた北の湖理

事長は「日本古来の伝統ある相撲を台湾の皆さんに披露できて大変光栄です」と述べた。朝青龍は力士を代表し「皆さんが非常に温かく、素晴らしいところだと思った。気迫のある相撲を取りたい」とあいさつした。

朝青龍が土俵入りで締める綱のミニチュアを陳総統に手渡し、総統からは台湾製の陶器が贈られた。(13:13)
